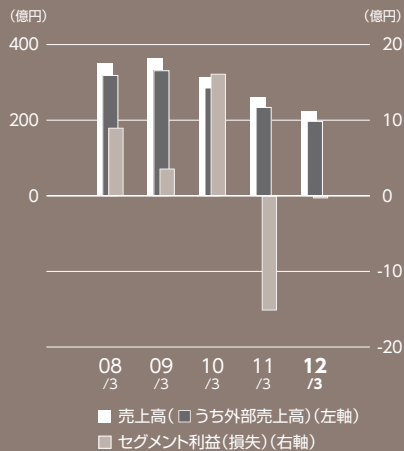


セグメント売上高／ セグメント利益(損失) *



* 2008年～2009年3月期は営業利益を、
2010年～2012年3月期は経常利益を表示しています。



その他の事業 事業概況

その他の事業

広島市西部水資源再生センター 燃料化施設(広島県)

業績ハイライト

売上高は、連結子会社の電気通信工事の売上の減少等により、前期に対し14.5%減少の223億円となりました。
セグメント利益(経常利益)は、売上原価の減少等により、前期に対し15億円増加の3百万円の損失となりました。

事業の概要と特徴

J-POWERが保有する経営資源とノウハウを活用し、連結子会社および関連会社を通じて情報通信事業や石炭販売事業、環境関連事業等の多角的な事業を展開しています。

石炭販売事業では、自社購入石炭について国内外のユーザーへ販売しており、石炭バリューチェーン全体の価値向上に貢献しています。また、環境関連事業では、石炭火力発電所でのバイオマス燃料の活用に向けて、下水汚泥の固形燃料化リサイクル事業等を行っています。

この他にも廃棄物発電事業や熱電供給システム(コジェネレーション)を通じた新たな電力事業、国内での技術コンサルティング事業等にも取り組んでいます。

▶ その他の事業における主なプロジェクト

(2012年3月末現在)

プロジェクト名	所在地	事業概要	当社出資比率(%)	運転開始年
金町浄水場PFI*1事業	東京都葛飾区	東京都水道局金町浄水場コジェネレーション(ガスタービン発電、出力12.28kW)	20%	2000年
鳴海工場PFI事業	愛知県名古屋市	名古屋市鳴海工場整備・運営(一般廃棄物処理能力:530t/日)	11%	2009年
広島市西部水資源再生センター下水汚泥燃料化事業	広島県広島市	下水汚泥の燃料化施設の建設から、当社の石炭火力発電所での混焼利用まで一貫体制で実施するDBO*2方式の下水汚泥燃料化リサイクル事業(汚泥処理能力:100t/日)	34%	2012年
熊本市下水汚泥固形燃料化事業	熊本県熊本市	下水汚泥の燃料化施設の建設から、当社の石炭火力発電所等での混焼利用まで一貫体制で実施するDBO方式の下水汚泥燃料化リサイクル事業(汚泥処理能力:50t/日)	事業会社設立準備中	2013年(予定)
大阪市平野下水処理場汚泥固形燃料化事業	大阪府大阪市	下水汚泥の燃料化施設の建設から、当社の石炭火力発電所での混焼利用まで一貫体制で実施するPFI方式の下水汚泥燃料化リサイクル事業(汚泥処理能力:150t/日)	60%	2014年(予定)
大牟田RDF発電	福岡県大牟田市	一般ゴミを圧縮成型した固形化燃料(RDF: Refuse Derived Fuel)を用いたリサイクル発電(出力:20.6MW、RDF処理能力:315t/日)	45.2%	2002年

*1 PFI (Private Finance Initiative): 民間の資金、経営能力、技術力等を活用して、公共施設の建設から運営までを行うプロジェクト方式。

*2 DBO: 公共機関が資金調達し、設計(Design)、施行(Build)、運営(Operate)を一括して民間企業に委託するプロジェクト方式。